

平成28年度

学校自己評価報告書

平成29年 3月27日

学校法人 東洋学園

宮崎医療管理専門学校

自己点検・評価委員会

はじめに・・・評価基準、方法、根拠等について

本校では、学則第4条及び自己点検・評価規程に拠り、PDCAサイクルの構築も意図して学校評価を実施している。今年度の中間評価報告（9月27日）をふまえ、学則等の基準、学校及び各学科の方針、運営計画にもとづいた教育活動や学校運営に対し、今年度の取り組みについて総合的に評価した。

根拠として、年度初めに提示した実施要項に基づき実施した各評価（各部署、授業、人事考課）資料、本校研修規程に拠る研究授業及び教職員研修会関連資料、定例の各会議（科内会議、科長会議、職員会議、運営委員会等）の議事録、日誌、学生指導の報告書、復命書等がある。なお、評価段階については5段階としている。

評価結果にある改善策及び3月27日開催の学校関係者評価委員会と教育課程編成委員会等をふまえ、次年度の改善及び学校運営にあたっていきたい。

評価項目を以下の10項目として、また、評価段階を各種評価と同様の5段階（5：大変良い 4：良い 3：ふつう 2：あまり良くない 1：良くない）としている。

1 教育理念・教育目標

	評価項目	評価
①	教育理念・目標が設定されている	5
②	人材育成像・指導方針が設定されている	4
③	①②を明文化している	5
④	①②について、周知徹底されている	3
⑤	①②について、実践し教育に現れている	3

[状況・課題]

- ・④⑤について、各科、各部署において改善に向け、さらに努力を要する。
- ・学校全体の校風、教育環境として引き続き醸成を図っていく必要がある。〈同じ〉

[改善策]

- ・学生に対する建学の精神や教育目標、方針に関する指導について、学校全体の取組として共有及び意識づけを図っていく。
- ・学生指導のあり方を中心に検討し、学校全体の取組として充実させる。
- ・教職員自ら実践することに心がけ、自己評価に反映させ、改善に努める。

2 学校運営

	評価項目	評価
①	学校運営方針及び各種規定が明確に定められているか	4
②	学校運営の事業計画が定められ、計画に沿って運営されているか	3
③	学校の運営組織や意思決定機能は効率的なものであるか	3
④	人事や処遇に関する制度が適切に整備され、運用されているか	3
⑤	業務の効率化、経営の視点による取組が行われているか	3

[状況・課題]

- ・学則や内規等をもとに学校運営に当たっているが、一部について修正等を要する。
- ・学校運営の計画的な取組やそれを意識した業務の遂行について、個別の改善が必要である。＜同じ＞
- ・学校経営や学校を存続させる上で、処遇等の見直しを要する。
- ・全体のバランスを考慮した校務分掌にて業務に当たっているが、意識づけを含めた改善も必要である。

[改善策]

- ・学生便覧（学則等掲載）の内容について。整合性等を考慮し修正等を行った。
- ・処遇等の見直しについて検討し、実施する予定である。
- ・年間行事や科長会議、職員会議等での確認、決定事項について、優先事項を考慮し計画的に取り組むよう、所属長やチーフによる随時の周知を図り、業務の遂行に当たる。

3 教育活動

	評価項目	評価
①	カリキュラムは体系的かつ適正に編成されているか	4
②	人材ニーズ等に合わせ、カリキュラムの見直しが行われているか	4
③	成績評価・単位認定の基準は明確に設けられているか	4
④	授業計画が明文化され、それにもとづく教育を実施しているか	3
⑤	授業評価の実施、評価体制が整っているか	4
⑥	教員の資質、指導能力向上に対する方策を採っているか	3
⑦	資格取得の指導体制はあるか	3

[状況・課題]

- ・授業評価の実施体制について整備されてきており、評価そのものも高い。ただ、前期評価を受けての具体的改善について、不十分なところも窺える。
- ・各職能団体等関連の研修に参加しているが、教科指導関連の研修等、積極的に機会を設け、内容の充実を図っていく必要がある。
- ・資格取得について、具体的成果を出すための指導体制の充実に継続して取り組む必要がある。

[改善策]

- ・特に各専門領域、各教科関連の研修について、個人レベルでの取組を強化する。
- ・資格取得について、時間確保による指導体制（カリキュラム編成）をふまえ、指導方法について検討し実践する。＜継続＞

4 学修成果

	評価項目	評価
①	就職率の向上が図られているか	4
②	資格取得率の向上が図られているか	3
③	退学率の低減が図られているか	2
④	卒業生の社会的な活動状況や評価を把握しているか	3

[状況・課題]

- ・前年度以上に求人状況は良く、後半、活発な取組が見られ、前年度同様の結果となる見込である。
- ・医療情報管理科及び専攻科、介護福祉科の各資格の合格率を高めていく。＜継続＞
- ・本年度後半、退学者（見込を含む）が複数あり、普段の指導、対応等の対策について検討を要する。
- ・卒業生の動向について職場訪問等によるアンケートを実施し、一部ではあるが、活動等の状況を把握することができた。

[改善策]

- ・項目3⑦と同様。＜継続＞
- ・さらに同窓会や職場との連携を図りながら、引き続き卒業生の状況把握や支援につなげていく。

5 学生支援

	評価項目	評価
①	進路指導に関する体制が整備され、機能しているか	4
②	学生相談に関する体制が整備され、機能しているか	3
③	学生の経済的側面を支援する体制が整備され、機能しているか	4
④	保護者と適切に連携しているか	4
⑤	卒業生への支援体制はあるか	3

[状況・課題]

- ・学生個々の意思を尊重しながら、個別の対応を実施している。＜同じ＞
- ・前期同様、個別の相談は担任が行うことが多く、体制の整備、機能は不十分である。

- ・奨学金制度関連手続きや延納等、支援体制に基づく丁寧な対応をしている。〈同じ〉
- ・保護者への連絡、面談を適宜実施し、保護者の理解、協力を得るよう努めている。〈同じ〉
- ・卒業生への支援について、体制として整備されていないが、同窓会を通じてや就職斡旋等個別には対応している。さらに効果的な体制や方策について検討を要する。

[改善策]

- ・求人票の適切な管理及び情報提供により、学生の自主的な取組が見られる。ただ、就職支援室について、積極的利用につなげる手立てを検討する。
- ・学生相談について、各科での取組状況をこまめに共有し、指導に反映させる。
- ・実習先等以外でも、年間を通し、計画的な施設訪問を実施し、学生や求人等に関する情報交換や進路開拓を実施する。
- ・本年度卒業生についてキーパーソンとなる学生を選んだり、同窓会での個別の啓蒙活動等、ネットワークづくりにの構築を図った。
- ・卒業生来校及び対応に関する記録を整備した。

6 教育環境

	評価項目	評価
①	施設・設備は、教育上、充分に対応できるよう整備されているか	4
②	実習やインターンシップについて、十分な教育体制が整っているか	4
③	防災に対する体制は整備されているか	3

[状況・課題]

- ・施設や設備の一部について、老朽化に伴う修繕、IT機器等の備品の更新、入れ替えを要する。〈同じ〉
- ・校舎周辺の美化管理に配慮を要する。〈同じ〉
- ・実習やインターンシップについて、教育体制は整っており教育に活かされている。〈同じ〉

[改善策]

- ・経費や優先順位を考慮し、施設や設備、教育機器の充実を図っていく。〈継続〉
- ・担当職員を中心に教職員全員で美化、整備に取り組めるよう計画する。〈継続〉
- ・地震災害を想定した訓練を含め、内容を充実させる。〈継続〉

7 学生の受け入れ募集

	評価項目	評価
①	学生募集活動は、適正に行われているか	4
②	教育成果の情報提供は、適正に行われているか	4
③	入学選考は、適正かつ公平な基準により行われているか	4
④	学納金は、妥当なものとなっているか	5

[状況・課題]

- ・募集活動や情報提供、入試選考等、適正に実施している。〈同じ〉

[改善策]

- ・②について広報協力委員会を立ち上げ、広報係との連携協力による情報提供やホームページによる情報公開に努めている。〈継続〉

8 財務

	評価項目	評価
①	中長期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか	3
②	予算、収支計画は、有効かつ妥当なものとなっているか	3
③	財務について、会計監査が適正に行われているか	4
④	財務情報公開の体制整備はできているか	4

[状況・課題]

- ・本年度、結果として厳しい学生募集状況が、財務基盤の安定化を図る上で大きく影響している。
- ・支出削減について検討及び実施しているが、学校運営上の必要経費の確保等、厳しい状況である。〈同じ〉

[改善策]

- ・学生募集について、成果を得るためのより効果的な取組について検討し、速やかに実施する。
- ・一般（社会人）対象の募集活動の強化及びAO入試を導入する。
- ・講習会等の収益事業の継続及び新規事業を導入する。

9 法令等の遵守

	評価項目	評価
①	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
③	自己点検・評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
④	自己点検・評価の結果を公表しているか	4

[状況・課題]

- ・普段より法令遵守に努め、適正に学校運営にあたっている。〈同じ〉
- ・個人情報について、特に管理上の取扱いに配慮している。〈同じ〉
- ・自己点検・評価について、改善のための取組に対し、厳格に評価する必要がある。

[改善策]

- ・個人情報を含む、諸表簿の整理、処分を含めた管理体制を維持する。
- ・自己点検・評価が具体的な改善につながるよう、まずは、教職員会議等様々な機会では校務分掌や教育活動等の遂行の状況を把握、意識する（させる）。 <継続>

10 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価
①	学校の教育資源を有効活用した社会貢献を行っているか	4
②	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
③	地域や関係団体との連携や交流を通して、地域活動に参加しているか	3

[状況・課題]

- ・さらに本校を地域社会に広く認知される必要がある。 <同じ>
- ・ボランティア活動について、実施及び支援体制は組織的にできているが、学科、学年、学生個々等偏りがある。 <同じ>
- ・地域関係団体の依頼で、交流事業や会議等に参加、活動している。今後、本校独自、学生の自主的な活動も行っていく必要がある。

[改善策]

- ・本校の認知度を高めることもふまえ、工夫して広報活動を展開する。 <継続>
- ・関係団体、施設等との協力も得ながら、担当教員を中心に学生自ら主体的計画的な活動ができるよう支援していく。
- ・関係部署及び各科の取組として、地域や関係団体との交流を増やす。 <継続>
- ・学校行事（プログラム）において、清掃活動等の地域貢献に係る事項を入れる。 <継続>

以 上